



『公民館報とよおか』が、今月号からリニューアルとなりました。紙面のサイズは、この頃あまり見かけなくなったタブロイド版（一般的な新聞の半分）をそのままに、内容を刷新。幅広い世代に親しみをもってもらえる紙面を目指します。

●2面

『こちら資料館』は2面へお引っ越し。公民館・地域の話題のほかに、6月号からは、「介護を支える皆さんと考える『尊厳ある社会』（仮題）」の連載が始まります。

●1面

その号の顔になる写真をサイズアップ。写真の説明は左下のコーナーへ。公民館・地域の話題に加えて、分館の活動を『地域の絆、ここにあり』のコーナーとして1面で取り上げます。分館の皆さんは、原稿などご協力をお願いいたします。

●紙面構成

段組みと文字数を減らし、文字を大きくしました。また、横書きのコーナーも多くなっています。

●題字

題字の「TOYOOKA A」は、格調高い英字フォントを採用し、ロゴタイプ化。これまでの題字に敬意を込めたデザインとしました。

今月号は、リニューアルの内容をご紹介します（これまでの検討経過は前月号をご覧ください。）

『公民館報とよおか』が、今月号からリニューアルとなりました。紙面のサイズは、この頃あまり見かけなくなったタブロイド版（一般的な新聞の半分）をそのままに、内容を刷新。幅広い世代に親しみをもってもらえる紙面を目指します。

アンケートでも多かった「ひと」にフォーカスしたコーナーとして、『あの人この人』の連載が始まります。以前に連載

●4面

アンケートでも多かった「ひと」にフォーカスしたコーナーとして、『あの人この人』の連載が始まります。以前に連載

もっと身近にもっと楽しく
公民館報が
リニューアル

『豊丘村の「これ」知ってる？』では、豊丘村のスポーツや行事、伝統などを写真とクイズで紹介いたします。

次世代を担う子どもたちにスポットを当てたコーナー『きらり☆豊丘村のこどもたち』もスタート。子どもたちの輝く姿、活躍する姿を、写真を中心に紹介します。

生まれ変わった館報のご愛読を、どうぞよろしくお願いたします。公民館報編集委員会

●大写真
小中学校入学式 令和8年4月6日(月)
天候に恵まれた4月6日、午前中に小学校、午後に中学校の入学式が晴れやかに挙行されました。今年度は、南小学校(写真右)42人、北小学校(写真左)14人、中学校58人の新入生を迎えました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

『豊丘村の「これ」知ってる？』では、豊丘村のスポーツや行事、伝統などを写真とクイズで紹介いたします。次世代を担う子どもたちにスポットを当てたコーナー『きらり☆豊丘村のこどもたち』もスタート。子どもたちの輝く姿、活躍する姿を、写真を中心に紹介します。生まれ変わった館報のご愛読を、どうぞよろしくお願いたします。公民館報編集委員会

令和8年度 主な公民館・社会教育関連事業

人々が集い、学び、結ぶ公民館となるよう、今年度も様々な事業を企画しています。

◆公民館学習会

SDGsの視点を踏まえ、健康・人権・文化などをテーマに、全10回の楽しく学べる講座を計画しています。年度途中からのご参加も大歓迎です。

◆とよおか金馬寄席

今年度は三遊亭金馬師匠のとよおか金馬寄席を9月12日に開催します。間近で見える名人芸を、どうぞお楽しみに！

◆成人講座記念講演会

今年度は成人講座第10回目を記念して、7月10日に開催。新型コロナウイルスと闘った尾身茂先生をお招きします。

◆豊丘村人形劇公演

32回目となる豊丘村人形劇公演は、愛知県の人形劇団「あつけらかん」をお迎えし、8月11日公演予定です。

◆武田信玄狼煙上げ

今年も8月末頃に村民グラウンドで開催予定。本物の炎と煙で再現される古の伝達手段は、歴史のロマンを感じます。

◆とよおか元気塾

ふるさと応援大使・山本博先生が、健康と元氣をお届け。7月12日に日本テレビキャスターの笛

吹雅子さんをお招きします。

◆文化祭作品展

とよおかまつりまでの一週間、ゆめあるていっばいに、公民館グループや個人・小中学生の色とりどりの力作が並びます。

◆24時間ソフトボール大会

38回目となる大会は、例年どおり8月下旬に開催予定。真夏の熱く楽しい戦いに、ぜひご参加ください。



◆豊丘村駅伝大会

39回目となる大会は、例年どおり11月23日に開催予定。秋麗のなか、仲間や友達、家族と一緒に走ってみませんか。

◆村民ゴルフ大会

29回目となる大会は、6月9日開催予定。日頃の練習の成果を存分に発揮してください。

◆「コミュニケーション・地域学校協働活動」の推進

児童生徒の生きる力と地域の教育力を高めるため、学校支援ボランティアと地域学校協働活動を推進。学校と地域が一体

となって成長を見守れるよう、お力添えください。

◆中学生のボランティア活動支援

中学生が自主的に村内の福祉・教育施設、イベント等でボランティア活動を行うことを応援します。地域との繋がりと、生徒の成長を育みます。

◆ジュニア防災学

災害について学び防災意識の向上を目指す講座。今年度は南小学校を会場に、避難所生活を二泊二日で体験します。



◆ゆめスタ

ひとりではなかなか頑張れない夏休みの宿題を、集中して取り組める雰囲気。7月27日～30日です。

◆星空観測会

今年度の星空観測会は、夏から秋へ移り変わる夜空の天体を、本格的な望遠鏡で観測します。9月19日の予定です。

◆みそ作り講座

この地域でも昔から家庭で行われていたみそ作りを体験する講座です。3月頃に仕込みます。

◆冬季レクリエーション大会

仲間が集まって楽しく身体を動かすレクリエーション大会を2月中旬頃予定しています。

村の小中学校 教職員異動

学校に新たな息吹

転出・退職

◆南小学校

校長 田中 寛人
丸山小へ
教頭 土居 正城 退職
井田 樹乃
伊那市立美篤小へ
村沢 隆行 伊賀良小へ
山内紀美江 旭ヶ丘中へ
中村 靖子 上久堅小へ
市瀬 律子 龍江小へ
吉川 千恵 退職
三木 未来

◆北小学校

校長 三澤 雅志
安曇野市立豊科南小へ
木下 篤史
退職(初任研C)
山内友紀也
茅野市立玉川小へ
伊藤 春音 追手町小へ
吉川 千恵 退職
奈良井美保 下條小へ
原田亮之介 豊丘中へ
清水恵美子 豊丘中へ

◆中学校

校長 林 久美
飯田西中へ
教頭 福与 泰安
遠山中(校長)へ
成田 昌弘 高遠高校へ
清水 聖都 飯田西中へ

転入

◆南小学校

校長 松島 直美
千代小(教頭)から
教頭 石原 淳
下條中(教頭)から
三村 旺雅
駒ヶ根市立赤穂小から
関島 秀人 竜丘小から
西村 明美 松尾小から
田中久美子 旭ヶ丘中から
大沢 和夫 竜丘小から
桜井 美晃 豊丘中から
木下 菜優

◆北小学校

校長 古村 淳仁
宮田村立宮田中教頭から
南牧村立南牧南小から
豊丘北小から
小石峯小から
豊丘南小から
関川 有紀 新規採用

転入

◆中学校

校長 下平 将揮
松本市教育委員会から
教頭 下島 斉
飯田風越高校(教頭)から
本多 俊平
高遠高校から
林 佳代 松尾小から
手塚 俊尚
飯田美術博物館から
石原 信吾
石川県野小から
西村 明美 松尾小から
原田亮之介
豊丘北小から
小石峯小から
豊丘南小から
関川 有紀 新規採用

転入

◆南小学校

校長 松島 直美
千代小(教頭)から
教頭 石原 淳
下條中(教頭)から
三村 旺雅
駒ヶ根市立赤穂小から
関島 秀人 竜丘小から
西村 明美 松尾小から
田中久美子 旭ヶ丘中から
大沢 和夫 竜丘小から
桜井 美晃 豊丘中から
木下 菜優

◆北小学校

校長 古村 淳仁
宮田村立宮田中教頭から
南牧村立南牧南小から
豊丘北小から
小石峯小から
豊丘南小から
関川 有紀 新規採用

新編集委員紹介



北市場一 福澤 郁文

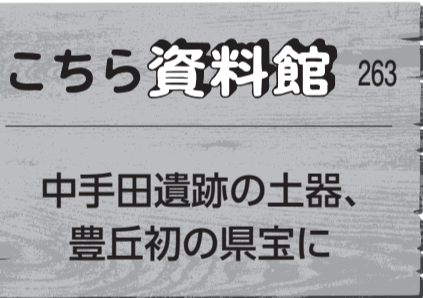


八王子 矢野 智志

豊丘村に住みはじめて今年6年目になります。東京の美術大学に学び、修業時代を経て独立し、グラフィックデザイナーとして70歳まで月刊誌、ポスター、書籍や新聞等のデザインなどの仕事をしてきました。

今度、新編集委員になりました矢野智志と申します。1984年(昭和59年)生まれの42歳。出身は宮城県の仙台市になります。約5年前に豊丘村に家族と引っ越してきました。隠れた特技はけん玉です。編集委員という大役ではございますが、今まで培ってきた経験を少しでも生かせるよう精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

今回お答えされたのは、この張り出し部分を「祭祀空間」(祈りを捧げる特別な場所)と位置づけて、そこから出土した土器類が当時の祭祀行為を解明する上で学術上たいへん重要かつ貴重な資料である点と高く評価されたからです。この答申を受け、村教育委員会では、県宝指定の土器12点の特別



こちら資料館 263
中手田遺跡の土器、豊丘初の県宝に

去る3月24日、長野県文化財保護審議会は、予てより申請中だった中手田遺跡(旧役場跡)から出土した土器12点(写真①)を、県宝に指定するよう県に答申しました。これで、正式に県宝として指定される事が確実となりました。豊丘村にとって初めての県宝の誕生です。土器12点は次の通りです。

- ・大甕(1)
- ・壺(1)
- ・獣脚付短頸壺(1)
- ・坏：食物を盛る器(2)
- ・蓋(4)
- ・盤：皿(3)

これらの土器は礎石や土台のある大きな住居跡の張出部分(写真②右)から出土しました。

年代は8世紀末(奈良時代末、平安時代初期)と考えられます。



▲写真①



▶写真②

資料館主任 唐澤武彦

図書館だより 4月号

< 移動図書のご案内 >

5月の移動図書
8日(金) 壬生沢福島集落拠点施設
時間 午後8時～9時

< 本の紹介 >

『最新子連れ防災 BOOK』
富川万美 著
祥伝社

阪神淡路大震災から能登半島地震まで…被災ママパパの体験をもとに、子どものいる家庭に必要な防災をまとめた一冊です。子どもを連れての避難所生活は想像以上に過酷なため、自宅に戻った子連れ家庭が多かったといえます。それを踏まえ在宅避難を前提とした安全な場所作りのポイントを紹介しています。また子連れ防災は楽しみながらが基本とのことで、キャンドルの明かりで夕食を食べてみたり、家族揃って寝袋で寝てみたり、防災グッズだけで一晩を過ごす防災ごっこをしてみるなど、遊びながらの予行演習も提案しています。普段から気を付けておきたいことや、何をどれくらい用意してどこに置いたらいいのかなど、子連れ防災に関する具体的な備えも紹介されています。
図書館 田中絵美里

今月のほんだな



学研のえほんずかん「すもうのずかん」

絵 : オゼキイサム
監修 : 藤井康生
出版社 : 株式会社 Gakken

贈りびと 絵本の会

こここのところ、相撲人気は高まるばかり。いつも会場は「満員御礼」の状態のようです。さて地元出身力士の御嶽海を応援しながら、この本をぜひ近くに置いてみて下さい。小さな絵本ですが、相撲の秘密がどっさり載っています。力士の体重？足の大きさ？あのピンつけ油を落とすためにシャンプーの量は？どのくらいなのでしょう。相撲のルール、立ち合い、取り口など、わかりやすい絵で教えてくれます。又、相撲を支える行司、呼び出し、床山さん達の使う道具、その仕事ぶりも紹介しています。大人も子どもも楽しめる絵本ずかんです。あわせて読みたい本「大相撲の不思議」(元横綱審議員)内館牧子著、およそ1300年の歴史を持つ相撲の世界を、わかりやすく、おもしろく…天平の頃、力士は髪に花をつけ「花道」を歩いたとか…そんな不思議な世界を楽しく読んでみませんか。

つどろ！つながる！仲間たち

公民館登録グループ・体育協会加盟団体

とよおかミニバスの仲間になろう！ とよおかミニバスケットボール教室 代表 仲田 正徳

とよおかミニバスは県内で一番若く、そして、男子ミニバスとしては村内唯一のチームです。現在は30名程の子どもたちが、JBA公認指導者とともに、楽しく身体を動かしています。子どもたちの生活環境の多様化などで、運動する子どもたちが減少しており、会員数も少なくなってきましたが、より多くの子どもたちにバスケの楽しさを感じて欲しいと思います。新年度となり、1～6年生までの新会員を絶賛大募集中です。いつでも体験できますので、気楽な気持ちで村民体育館へお越しください。



ほう き ぼし 豊輝星 せい が 慧雅

よさこい踊りませんか？ 代表 北澤 百合子

私たちのチームはファミリーチームで、保育園児から60代まで幅広い年代で構成されています。年に数回のイベントに参加しており、11月に行われるとよおかまつりでは、県内のよさこいチームが参加して、よさこい祭りが行われます。毎週金曜日(19:30～21:30ゆめあるてにて)に練習があり、新しい曲や振り付けに悪戦苦闘しながらも、みんなで教えあって楽しくやっています。興味がある方は是非見に来てください。お子さま連れでも大丈夫です！また大旗を振ってみたいという方も募集しています。



皆さんも一緒に踊りませんか？

段丘俳句会

- 啓蟄や風の柔らか姉忌日 片桐洋子
- 春一番散歩の帽子深目にす 森田恵子
- 吊るし雛一つ一つに謂れあり 木下眞水
- ほほえめる夫の遺影と雪籠り 松岡照子
- 一夜草はや顔覗く生家かな 宮下純子
- 天竜川の瀬音たかまる春暖炉 丸山時子
- 改築の二年ぶりなる雛かな 林恵美子
- 春寒し脳整へて句会かな 矢島千勢子
- 春を待つ浅間の火口えぐりを 池田美和
- 師の手紙みつかる春月こうこう 細井恵子
- 梅の香や歩みゆるめる夕まぐれ 吉川明子
- 冬五輪日の丸なびき頼つたふ 石田美佐子
- 雪飢饉青洶渦を巻きほぐし 北原昭子
- 満蒙を語りて逝きし久保田さん 筒井恵子
- 形見となりし福寿草咲く
- 参観日しよう来のゆめ発表した そのゆめのためがんばるぞ 筒井嵐大
- 枝払い太い幹をも切り落とし 松尾ヒサコ
- 吾植えし栗五十年の姿
- 夫の背は曲がりてシャツが下せず 福澤貴美恵
- 手伝う笑顔も胸つまりつつ
- りくりゅうのフィギュアスケート 福澤郁文
- 宇宙一ミラノに咲いた珠玉の輝き
- 週末の校庭見らの姿なく 大原眞由美
- 雪の西山空の碧へと
- 心鎮め写経の机に向いたり 毛涯百合子
- 九十七歳の般若波羅蜜
- 諦めの良さも一つの生き方かなれども御嶽海の脆さよ 福澤亀人

とよおか短歌会

今月号から公民館報がリニューアルとなりました。皆さん、手に取っていただけたでしょうか。目を通していただけたでしょうか。印象はいかがですか？
リニューアルに至った背景には、①マンネリ化②デザインが古い③若年層に受け入れられていない④地域の課題や身近な話題の発信不足⑤公民館活動のPR不足⑥イベントの参加者の減少等の課題がありました。これらの課題を解決・解消するために検討委員会を設け、住民アンケートでいただいたご意見等を踏まえて検討を重ねてきました。
内容に物足りなさを覚えた方々、少しお待ちください。定例の記事が終われば、「人」にフォーカスした記事の増加や分館活動の充実した情報の掲載など、刷新をさらに感じ取っていただけるものと思います。各分館の活動の情報は、当該地域の絆を深めるだけでなく、他の分館の活動の参考や糧になります。分館は公民館の根幹をなす存在です。分館からの投稿もお待ちしております。

段丘



文字は、昭和30年7月発刊の第1号から、題字は同年9月発刊の第2号から、令和8年3月発刊の第781号まで。

ツミ (タカ科)



今月は下條の石毛さんから頂いたツミを紹介するつもりだが、チョウの初見日(3/23現在)の紹介で終わってしまいそうで心配。以前に書いた「地球温暖化の実感を知る条件(初見日)が一段と早まった。ベニシジミ(3/4↓2/26)、スジシロチョウ(3/15↓2/28)、アゲハ(3/23↓3/15)、ツバメシジミ(4/7↓3/19)、ミヤマセセリ(3/22↓3/20)、ヤマトシジミ(4/7↓3/20)、スギタニルシジミ(3/26↓3/21)と。ちなみに飯田下伊那のサクラ前線も、過去最速で開花(3/16天龍村)、昨年より11日早く(3/17天竜峡)と早まる。さて、ツミだが、夏鳥で4〜5月に渡来。9〜10月に渡去とあるが、3/12の確認。夏鳥か留鳥か。「高森町の動植物」に2019・1/7に天龍川上空を豊丘方面へ飛翔とある。 **山田 拓**

— 長寿の秘訣

ラ ジオ体操を毎朝やっている。
食事は三食きちんと食べる。
30年日記を書いている。今年新しい日記帳を買ったが、悩んだ末いままでと同じ「5年日記」にした。

野菜作り、草取りや手入れ、暑い時期には、早朝からゆったり工夫して、無理しない。

— 昔の思い出

昭 和26年に結婚したが、飯田市山本から路線バスに乗って豊丘にきた。昔のバスは座席がコの字(座席が全て内側を向いている)だったので乗客に、「お嫁さんだ」と見られて、とても恥ずかしかった。「自分に娘ができれば絶対タクシーで嫁がせよう」と思った。農作業はみんな機械化されたので、4段の麦はざや米のはざも見られなくなり、「昔は手作業で一生懸命やったなあ」と思い出す時もある。

— 今の楽しみ

編 み物、パッチワークを使った布バックを作っている。お友達や家族に、あげている。喜んでくれるのでうれしい。

冬寒に
手編みセーターで
身を守り
家族の笑顔春まで続け
平成27年御主人の誠さんの句
公民館報に掲載



プロフィール

原 きさほさん (下市場)
昭和4年生まれ 96歳
満州から引き揚げ後、住み込みで見習看護婦、工場勤めをする。豊丘村へは昭和26年の結婚を期に。

あの人 この人



お元気さん ①

嫁いだ娘が毎日電話をくれたり、孫とラインをやっている。お互いの様子がわかるので楽しみにしている。

BSのニュースを見て世界の状況を知ったり、新聞のパズル・クイズを解くのも楽しい。NHKの朝ドラも見ている。

— 豊丘村への想い

豊 丘村は温暖で過ごしやすい。福祉も充実していてタクシー券も助かっている。近所の方も優しくて買い物に行く時は声をかけて乗せて行ってくれるので、ありがたい。

きらり☆豊丘村のこどもたち

ご入園おめでとうございます！

満開の桜が映える4月2日。
雨上がりの晴天に恵まれ、輝く笑顔が並ぶ入園式が行われました。



北保育園



中央保育園



南保育園



豊丘村の「これ」知ってる？

村内の道路に現れる驚きの文字「あっ!」。一体どこに設置されているのでしょうか？



【答え】 村道佐原線の中学校下付近

【解説】 この表示は、交通の安全を守るための「法定外表示」と呼ばれるもので、斬新な文句により分かりやすく車のスピード抑制を狙うものです。

設置場所は、県道伊那生田飯田線の漆沢川をまたぐ橋の南側から佐原地区まで続く「村道佐原線」。山側から下りていくと、中学校下にある横断歩道の手前にあります。緩やかなカーブの先に横断歩道があり、通学路にもなっていることから、ドライバーに見過ごされず注意してもらえよう、令和6年5月に設置されました。この「あっ!」は、歩行者の安全を守るための大切なサイン。皆さんもぜひ見つけて、優しい運転を心がけましょう。